

(様式1)

日本医療研究開発機構 次世代がん医療創生研究事業  
平成30年度 二次公募 研究開発提案書

研究開発課題名 (英語表記)	〇〇に関する研究開発 e-Rad 応募情報と同一、かつ変更は出来ません (Study of 〇〇)		
公募名(事業名)	がん創薬シーズやバイオマーカー候補の探索に資する新規アプローチを含む標的探索研究		
研究開発期間	平成30年 11月 1日 ~ 平成32年 3月 31日 (2年間)		
分野	〇〇〇〇 ※e-Rad 応募画面 基本情報 研究分野(主) 研究の内容を記入		
分科	△△△		
細目	□□□		
細目表 キーワード	〇△□、〇□△ ※e-Rad 応募画面 基本情報 研究分野(主) キーワードを記入		
細目表以外の キーワード	<input type="checkbox"/> 若手研究者 若手研究者に該当する場合は左記の□をクリックし、 <input checked="" type="checkbox"/> にする		
研究開発代表者 氏名	(フリガナ)	〇〇〇〇 〇〇〇	
	(漢字等)	〇△ 〇□ Mr. Yyyy Yyyyyy	
所属研究機関	〇〇〇〇大学		
住所	〒XXX-XXXX XX県XX市XXXX1-2-3		
電話番号	XX-XXXX-XXXX	FAX	XX-XXXX-XXXX
E-mail	YYY@YY.jp		
部局	△△△学部△△△学科		
職名	△△△		
経理事務 担当者氏名	□□ □□	経理担当部局 名・連絡先等	〇〇〇〇大学管理部〇〇課 電話番号: FAX番号: E-mailアドレス:
研究開発分担者 氏名※	(フリガナ)	〇〇〇〇 〇〇〇	
	(漢字等)	□□ 〇〇 Ms. Zzzz Zzzzz	
所属研究機関	△△大学		
住所	〒XXX-XXXX XX県XX市XXXX1-2-3		
電話番号	XX-XXXX-XXXX	FAX	XX-XXXX-XXXX
E-mail	YYY@YY.jp		
部局	△△△学部△△△学科		
職名	△△△		
経理事務 担当者氏名	〇△ 〇△	経理担当部局 名・連絡先等	△△大学管理部〇〇課 電話番号: FAX番号: E-mailアドレス:

※ 研究開発分担者等は人数に応じて適宜記入欄を追加してください。

【全体】

各年度別経費内訳

(単位：千円)

大項目		中項目	平成 30 年度	平成 31 年度	計
直接 経 費	1. 物品費	設備備品費	例) 5,000	例) 0	例) 5,000
		消耗品費	例) 2,500	例) 2,500	例) 5,000
	2. 旅 費	旅 費	例) 340	例) 340	例) 680
	3. 人件費 ・謝金	人件費	例) 2,000	例) 2,000	例) 4,000
		謝金	例) 0	例) 0	例) 0
	4. その他	外注費	例) 2,000	例) 0	例) 2,000
その他		例) 160	例) 160	例) 320	
小 計			例) 12,000	例) 5,000	例) 17,000
間接経費（上記経費の 30%目安）			例) 3,600	例) 1,500	例) 5,100
合 計			例) 15,600	例) 6,500	例) 22,100

※間接経費は直接経費の 30%を超えることは出来ません。

本公募の研究開発費は、初年度と次年度で異なります。詳しくは公募要領 III. 1. 公募研究開発課題の概要をご確認下さい。

【代表機関】

研究開発代表者の所属機関（研究開発代表者と同じ研究機関に所属する研究開発分担者の研究開発費も本表に含む）

各年度別経費内訳

(単位：千円)

機関名：○○○○○

大項目		中項目	平成 30 年度	平成 31 年度	計
直接 経 費	1. 物品費	設備備品費	例) 3,000	例) 0	例) 3,000
		消耗品費	例) 1,500	例) 1,500	例) 3,000
	2. 旅 費	旅 費	例) 340	例) 340	例) 680
	3. 人件費 ・謝金	人件費	例) 1,000	例) 1,000	例) 2,000
		謝金	例) 0	例) 0	例) 0
	4. その他	外注費	例) 2,000	例) 0	例) 2,000
その他		例) 80	例) 80	例) 160	
小 計			例) 7,920	例) 2,920	例) 10,840
間接経費（上記経費の 30%目安）			例) 2,376	例) 876	例) 3,252
合 計			例) 10,296	例) 3,796	例) 14,092

※間接経費は直接経費の 30%を超えることは出来ません。

【分担機関(枝番)】

代表機関を除く、研究開発分担者の所属機関

各年度別経費内訳

(単位：千円)

機関名：○○○○○

大項目		中項目	平成 30 年度	平成 31 年度	計
直接 経 費	1. 物品費	設備備品費	例) 2,000	例) 0	例) 2,000
		消耗品費	例) 1,000	例) 1,000	例) 2,000
	2. 旅 費	旅 費	例) 0	例) 0	例) 0
	3. 人件費 ・謝金	人件費	例) 1,000	例) 1,000	例) 2,000
		謝金	例) 0	例) 0	例) 0
	4. その他	外注費	例) 0	例) 0	例) 0
その他		例) 80	例) 80	例) 160	
小 計			例) 4,080	例) 2,080	例) 6,160
間接経費 (上記経費の 30%目安)			例) 1,224	例) 624	例) 1,848
合 計			例) 5,304	例) 2,704	例) 8,008

※間接経費は直接経費の 30%を超えることは出来ません。

- ・ 分担機関が複数ある場合は、本項をコピー&ペーストし、以降に追加記入してください。
- ・ 枝番は、分担機関ごとに「1」から順に付番してください。(例：分担機関 1、分担機関 2)

研究組織（研究開発代表者及び研究開発分担者）

	氏名（年齢） 研究者番号	所属研究機関 部局 職名	現在の専門 学位（最終学歴） 役割分担	平成 30 年度 直接経費 （千円）	エフオ ート （%）
研究開発代表者	○△○□ (XX) 12345678 * (e-Rad) に研究者情報を登録し た際に付与される 8 桁 の研究者番号を記載	○○○○大学	△△△	X, XXX ※初年度の 直接経費 を記入	XX
		△△△学部△△△学科	△△博士（○○大学）		
		△△△	△△△		
研究開発分担者	□□○○ (XX) 98765432	△□大学	□○○	X, XXX	XX
		△△△学部△△△学科	○○博士（□△学）		
		□□□	□□□□□		
計	2名		研究開発経費合計	X, XXX	



## (2) 基本構想

- ・ 評価者が理解しやすいように、必要に応じて図や表を用いて記載してください。
- ・ 3 ページ以内で記載してください。

### ① 研究開発の背景

本研究に関連する国内・国外の研究開発動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯について、本研究開発の重要性・必要性が明らかとなるよう、科学技術上の要請、社会的要請や経済、産業の要請および、当該分野や関連分野の動向等を適宜含めて記載してください。

### ② 研究開発の目標・ねらい・準備状況

研究開発目標（研究開発期間終了時に達成しようとする、研究開発成果の目標）、研究開発のねらい（上記研究開発成果によって得られるアウトカム及びその意義）、研究開発の準備状況（これまでに進めている部分の概略）を具体的に記載してください。

### ③ 研究開発の将来展望

「(2) 研究開発の目標・ねらい・準備状況」に記載された達成内容を端緒として、将来実現することが期待される、科学技術イノベーション創出、新産業創出・社会貢献、知的財産の取得・活用等を、想定し得る範囲で記載してください。







### (3) 担当別 研究開発概要

- ・研究開発代表者、研究開発分担者ごとに、担当する研究開発の概要を記載してください。
- ・「(2) 研究開発項目、マイルストーン」は、「別紙1 研究開発の主なスケジュール」の研究開発項目※マイルストーンと同一の記載とするなど整合をとってください。
- ・医師主導治験における症例登録など、同一の研究内容を行う分担研究者については、まとめて記載して構いません。

- ① 研究開発代表者 機関名 所属 役職：  
研究開発代表者 氏名：  
分担研究開発課題名（実施内容）

(1) 研究開発の目的及び内容

研究開発の目的及び内容を 200 字程度で簡潔にまとめてください。

(2) 研究開発項目、マイルストーン及び研究開発方法

「(2) 研究計画・方法」に記載の内容を達成するために当該担当者が実施する研究開発の項目、マイルストーン（達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項）、及び達成のための方法を年度毎に記載してください。

平成 30 年度：

平成 31 年度：

- ② 研究開発分担者 機関名 所属 役職：

研究開発分担者 氏名：研究開発分担者が複数いる場合はこの項目をコピーして追加して下さい。

分担研究開発課題名（実施内容）

(1) 研究開発の目的及び内容

研究開発の目的及び内容を 200 字程度で簡潔にまとめてください。

(2) 研究開発項目、マイルストーン及び研究開発方法

「(2) 研究計画・方法」に記載の内容を達成するために当該担当者が実施する研究開発の項目、マイルストーン（達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項）、及び達成のための方法を年度毎に記載してください。

平成 30 年度：

平成 31 年度：

#### (4) 倫理面への配慮

##### (1) 遵守すべき研究に関する指針等

研究開発の内容に照らし、遵守しなければならない指針等については、該当する指針等の「□」を「■」と記載してください。複数の指針等が該当する場合は、それぞれ「■」を記載してください。

- 再生医療等の安全性の確保等に関する法律
- 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針
- ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針
- 遺伝子治療臨床研究に関する指針
- 動物実験等の実施に関する基本指針
- その他の指針等（指針等の名称： \_\_\_\_\_ )

##### (2) 人権の保護および法令等の遵守への対応

- ・相手方の同意・協力を必要とする研究開発、個人情報取り扱いの配慮を必要とする研究開発、安全保障貿易管理、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究開発など法令等に基づく手続きが必要な研究開発が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。
- ・例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究開発・実験などが対象となります。
- ・該当しない場合には、その旨記述してください。

### 3 研究業績

- ① 「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（過去5年間）を選択し、直近年度から順に記入してください。また、この提案課題に直接関連した論文・著書については、「○」を付してください。
- ② 特許権等知的財産権の取得及び申請状況および、研究課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）を記入してください。

#### <論文・著書>

著者(著者は全て記入してください。)、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ(最初と最後のページ)・発表年

・研究開発代表者： ○△ ○□

*○M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic....., Nature, 2015, 1,10-20*

*M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal..., Nature, 2015, 2,17-26*

・研究開発分担者： ○△ ○□

*○M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic....., Nature, 2015, 1,10-20*

*M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal..., Nature, 2015, 2,17-26*

#### <特許権等知的財産権の取得及び申請状況>

本提案に関連する特許権等知的財産権の取得及び申請状況について記載してください。

必要に応じてコピーして下に続けてください。

・研究開発代表者： ○△ ○□

(1)

出願番号：

発明者：

発明の名称：

出願人：

出願日：

・研究開発分担者： ○△ ○□

(1)

出願番号：

発明者：

発明の名称：

出願人：

出願日：

#### <政策提言>

・研究開発代表者： ○△ ○□

○○○○○○ガイドライン(○○学会編 XXXX年)

・研究開発分担者： ○△ ○□

○○○○○○ガイドライン(○○学会編 XXXX年)

#### 4 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

本応募課題の研究代表者の応募時点における、(1) 応募中の研究費、(2) 受入予定の研究費、(3) その他の活動について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。具体的な記載方法等については、研究計画調書作成・記入要領を確認してください。

- ① 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。
- ② 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。

※必要に応じて行を挿入して構いませんが、1頁以内で記入してください。

##### (1) 応募中の研究費

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究課題名(研究代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	平成30年度の研究経費 [期間全体の額] (千円)	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由
<b>【本応募研究課題】</b> (H30～H32)	〇〇と△△の する実験的研究 (〇〇〇〇)	代表	6,000 [18,000]	30	研究開発課題全体(直接経費)の総額例(6,000+1,000(分担者))×3年 (総額 21,000千円)*
科学研究費補助 戦的萌芽研究 (H30～H31・日本学術 振興会)	依存性に関する調査研 究(〇〇〇〇)	代表	3,000 [9,000]	20	研究とは××の視点から 調査する意味で異なり、 本応募研究により統合的 に理解が進むため。 (総額 9,000千円)*
平成30年度〇〇財団 研究助成金(H30・〇〇 財団)	××と□□の研究 (〇〇〇〇)	分担	1,000 [1,000]	10	本研究とは××の視点から 調査する意味で異なり、 本応募研究により統合的 に理解が進むため。

##### (2) 受入(予定)の研究費

既に採択済みで研究費を受け入れている又は受け入れる予定となっているもの。適宜読み替え可能。

資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	研究課題名(研究代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	平成30年度の研究経費 [期間全体の額] (千円)	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由
平成29年度〇〇財団 研究助成金(H29・〇〇 財団)	××と□□の研究 (〇〇〇〇)	代表	1,000 [1,000]	10	本研究とは××の視点から 調査する意味で異なり、 本応募研究により統合的 に理解が進むため。 (総額 5,000千円)*
〇〇事業(H28～H32・ AMED)	××と□□の研究 (〇〇〇〇)	分担	1,000 [5,000]	10	本研究とは××の視点から 調査する意味で異なり、 本応募研究により統合的 に理解が進むため。

\* ( ) 内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記入してください。

(3) その他の活動(講義、診療等) エフォート: 20%

## 5 これまでに受けた研究費とその成果等

- ① 本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに受けた研究費（所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、当該資金制度とそれ以外の研究費に分けて、次の点に留意し記述してください。
- ・ それぞれの研究費毎に、資金制度名、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果を簡潔に記述してください
  - ・ 当該資金制度とそれ以外の研究費は区別して記述してください。

### (1) 提案の研究立案に寄与した研究費とその成果

(例)

資金制度名：

期間（年度）： 年度～ 年度

研究開発課題名：

研究開発代表者又は研究開発分担者の別：

研究開発経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

#### 【当該資金制度】

(1) 次世代がん医療創生研究事業、H28～H29、「〇〇に関する研究」、代表者、40,000千円××××の成果を得た。

#### 【それ以外の研究費】

(3) 基盤研究(B)、H21～H23、「〇〇に関する研究」、代表者、40,000千円××××の成果を得た。

(2) 上記以外に研究費補助等を受けた過去の実績（過去3年度分）

研究開発代表者が、過去に受けたことがある国の競争的資金制度やその他の研究助成等（AMED 資金含む）について、制度※名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等を記入してください。

※制度とは、AMED の他、科学技術振興機構（JST）や日本学術振興会（JSPS）などが取り扱う国の競争的資金制度やその他の研究助成を全て対象としています。

【研究開発代表者】

制度名 (AMED 他事業の場合は事業名も記載)	受給状況	研究課題名 (代表者氏名)	研究期間	役割 (代表/分担)	本人受給研究費 " (研究期間全体予定)	エフォート (%)
科学研究費補助金 (基盤研究C)	-	〇〇〇〇〇 (〇〇〇〇)	H24. 4 — H26. 3	代表	〇〇, 〇〇〇円	10
	-	( )				

補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号、平成14年12月13日改正）第18条第1項の規定により補助金等の返還が命じられた過去10年間の事業について、該当する場合には記入してください。

【研究開発代表者】

年度	研究事業名	研究課題名	補助額	返還額・返還年度	返還理由	所管省庁等

【研究開発分担者】

年度	研究事業名	研究課題名	補助額	返還額・返還年度	返還理由	所管省庁等

**(3) 企業との共同研究の有無**

本提案内容について企業との共同研究がある場合は、その連携状況等について記載して下さい。

共同研究先企業名、連携状況等記載



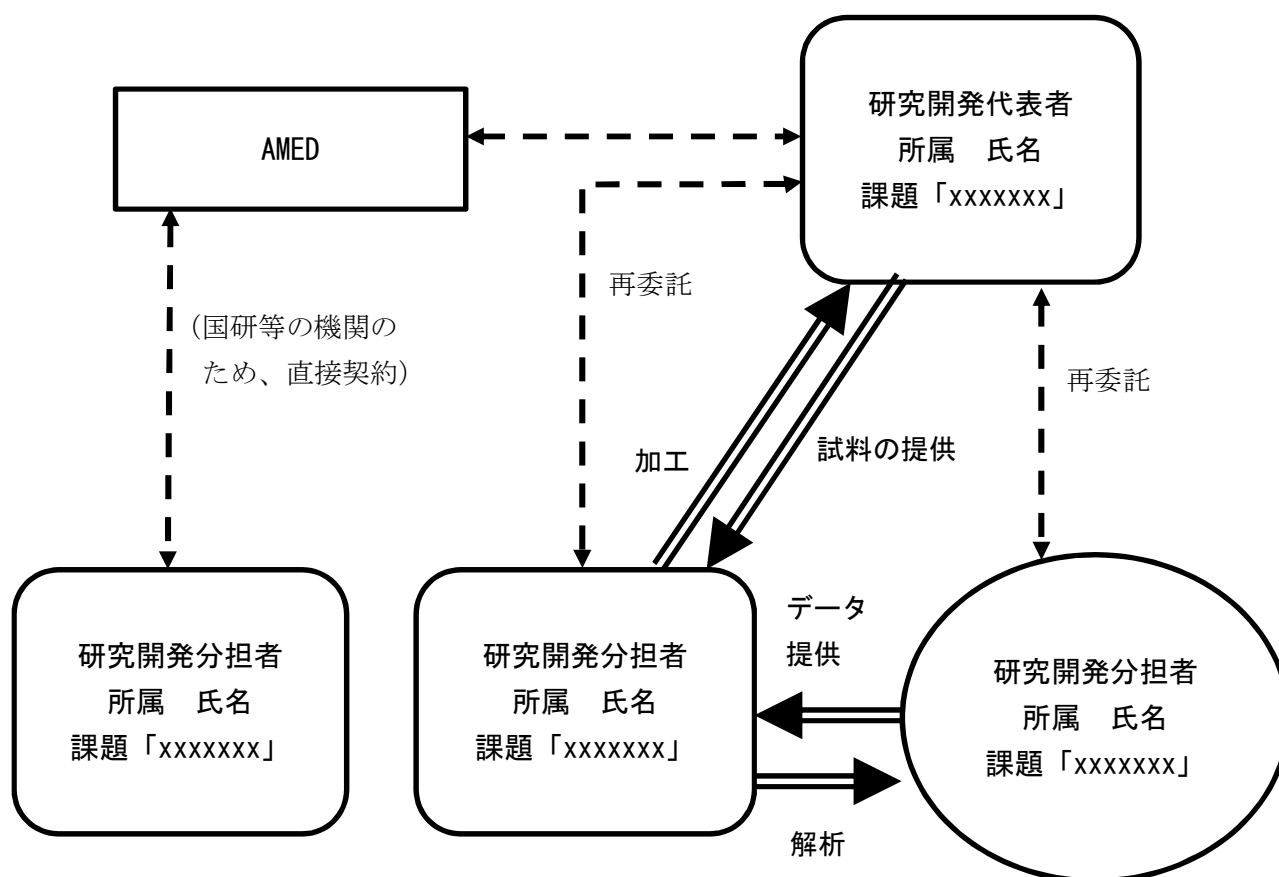


## 実施体制図

代表機関、分担機関の組織、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割が分かるように記載してください。また、研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載してください。

- ・研究開発体制、契約締結について記入してください。記載方法は下記のとおりです。  
角丸四角形：大学、楕円：企業、長方形：AMED、点線矢印：契約の流れ  
二重矢印線：試料、情報等のやりとり、分担（内容を記載）
- ・1ページ以内で記載してください。

## 【体制図記載例】



### 研究構想図

柔軟かつ独創的な発想に基づく新たなアプローチの研究内容について、1 ページに図としてまとめて下さい。



**4. Keywords (10 items maximum)**

*List as many as 10 terms that most likely represent the essence of the proposed research.*

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

**5. Publication list (10 items maximum)**

*List as many as 10 peer-reviewed articles published in English in reverse chronological order (most recent first), and specify the most relevant one(s) with an asterisk(s) (\*).*

- 1.
- \*2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.



